

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成31年1月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成31年1月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成30年12月検針分に適用の料金に比べ2.02円(消費税込)上方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成31年1月検針分の単位料金は、平成30年8月から平成30年10月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成30年12月検針分に比較して、64円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成31年1月適用 単位料金(円/㎡)	平成30年12月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	799	180.42	178.40	157.09
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,305	155.09	153.07	131.76
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,602	149.15	147.13	125.82
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,155	141.39	139.37	118.06
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,303	136.61	134.59	113.28
料金表F	750㎡をこえるもの	10,649	129.49	127.47	106.16

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	平成31年1月検針分の料金	平成30年12月検針分の料金	影響額
32㎡ (45MJ/㎡)	6,267円	6,203円	64円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
平成30年8月～平成30年10月の 平均原料価格 (b)	62,470 円/t
LNG価格	61,240 円/t
LPG価格	70,680 円/t
差 額 (b-a)	27,770 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	61,240 円/t	×	0.9608	
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	70,680 円/t	×	0.0513	
			62,465.276 円			
			↓ (10円未満四捨五入)			
			62,470 円/t			

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$62,470 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 27,770 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$27,700 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 27,700 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 23.33448 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$23.33 \text{ 円}$$